

Tokyo Tobihino Rotary Club



会長 渡邊良勝



幹事 朝倉邦雄

国際ロータリー第2750地区 多摩南グループ

東京飛火野ロータリークラブ

会長テーマ「奉仕活動は出席ではなく参加しよう」

2014▶15 Weekly Report vol.27-17



RI会長 ゲイリー・C.K.ホアン

2014年11月22日(土) 第1229回 多摩南グループIM 於:東京工科大学八王子キャンパス

今回のIMは“地域と共に歩むボランティア”がテーマで、会場で2014~15坂本ガバナー公式訪問を行ないました。公式訪問はグループ内の訪問スケジュールの調整が大変です。今回の試みは今後の公式訪問に一石を投じるかもしれません。

■第1部 式典



■司会 多摩南グループ幹事 山口進一

■開会点鐘 多摩南グループガバナー補佐 市川和博

■国歌斉唱 トソングリーダー 市川和博

オチャドブルン フランシスコ

ロータリーソング「奉仕の理想」

■開会挨拶 多摩南グループガバナー補佐 市川和博

今日はお集り頂きありがとうございます。町田は神奈川に隣接し、八王子は千人同心の活躍と面積も広く、日野は高幡不動尊と各々特色を持つ3地域で構成されています。今回IM会場を東京工科大学・日本工学院専門学校に相談したところ、諸手を挙げて承諾頂き素晴らしいキャンパスを無償でご提供いただきました。軽部学長ありがとうございました。

この後、若い世代を交えた「地域と共に歩むボランティア」と題しシンポジウムを企画。当グループ内のロータリークラブからご推薦いただいた3つのNPO法人と学生ボランティアからの事例報告に併せ「人と組織と地球のための国際研究所」の川北秀人先先をお招きし、基調講演およびコーディネーターを務めていただきます。学生ボランティアの方達の参加もあります。志を持った若い世代の彼等が卒業され、地元の事業所で活躍していただくきっかけになったらという思いもあります。又今回は坂本俊雄ガバナーの公式訪問をIMに併せて開催するという新しい試みも行ないます。7年ぶりの急な再任にもかかわらず、お元気に活動を続けられるガバナーの熱いメッセージをIMにお集りの会員で受け取りましょう。八王子の自然と丘陵に囲まれたキャンパスと絶景の会場でのIMを最後までお楽しみ下さい。

■来賓・クラブ紹介 多摩南グループガバナー補佐 市川和博

■歓迎挨拶 東京八王子南ロータリークラブ会長

長谷部良幸

ホストクラブを代表して御挨拶申し上げます。各クラブから多くの会員に御出席頂きありがとうございました。会場をお貸し頂いた東京工科大学に心より御礼申し上げます。10ヶ月に渡り準備を頂いた清水さんを始め実行委員に感謝申し上げます。最寄り駅から会場までの案内に当たった八王子南RCの皆さん、そして事務局さん御苦労様です。最後までお楽しみ下さい。

●東京工科大学学長 軽部 征夫 様 プロフィール紹介
グループ幹事 山口進一

■来賓挨拶 東京工科大学学長 軽部 征夫 様

当学は3専門学校があり8000名の学生がおり全学あわせると9000名になります。1986年に八王子にキャンパスが出来ました。私は学長歴12年ですが、その間拡張を続けバイオの研究と同様進化をしています。13万坪の構内を20人の皆さんが清掃にあたっています。本日はロータリークラブの皆さんと会合を進めて参りますが、大学ではサービスポランティアレポートを学生に課しています。就職3年未満で退職する学生もいるので、企業で働いて大学に戻り学業をする。こういうサポートがあってもと考えています。IMが成功裏に終ることを祈念申し上げます。

■協力宣言 RI2750地区ガバナー 坂本俊雄

東京工科大学学長 軽部 征夫 様



●坂本俊雄ガバナーの経歴紹介 ガバナー補佐

市川和博

■第2部 ガバナー公式訪問

国際ロータリー第2750地区ガバナー 坂本俊雄

RIの現状、RIのポリオ撲滅をはじめとする奉仕活動 2750地区は国際的でパシフィックベースグループのマリワナ諸島の・グアム・サイパンをはじめ8ロータリークラブを含んでいる。マリワナはスペイン女王の名前、11クラブの奉仕活動、大学生・青年を対象にした奉仕事業を現状を映像を用い、ロータリアンが信念・理念をもって奉仕活動をして、自分を律している。と解説頂く。

■第3部 シンポジウム“地域と共に歩むボランティア”



☆パネリストの報告要旨

●つくみ学童クラブ 原島浩美

放課後の子供が心配で学童保育所があればとの保護者の強い要望に応え町会が中心になり、平成元年4月に開設されました。町会・地域の運営で学童クラブとして、子供の放課後の生活が安心できる場所として運営されています。今、障害者の通所施設としても利用できる建物を建設中です。と地域に根を下ろして活動している現状を報告された。

●いのちのミュージアム 鈴木共子

2007年6月設立、2009年6月生命のメッセージ展の常設展示施設開設に向けて法人化、日野市の廃校を借用するために特定非営利法人「いのちのミュージアム」を設立。理不尽な事故で命を落とした犠牲者一人一人の等身大のパネルを、メッセージと呼び、顔写真や家族の言葉を貼り、足元には生きた証拠である靴を置いて命の大切さを訴えています。

●日本フィランソロピー協会 加勢川佐記子

企業や個人の社会参加意識を高め、誰もがいきいきと暮らし、お互いが支えあう事ができるフィランソロピー社会の実現をめざし活動しています。行政・企業・NPOとの協働を通じて、企業や個人が寄付やボランティアをはじめとする社会貢献活動に、積極的に取り組むことを啓発し、また、その実践を様々なプログラムで支援しています。

●東京工科大学ボランティアグループサービススラーニング

2007年から8年間で延べ400人の学生が携わってきた。主な活動は、朱鷺の野生復帰事業、つまり自然繁殖の為に餌場造りやピオトープ整備、学生が企画準備と担い手となり地域の皆さんをもてなすためのお祭りの実施、(岩首の竹灯り) 佐渡国際トライアスロンの給水支援など多彩な支援を自炊生活を行ないながら実施しています。私達が目指するのは一時的な体験だけで終わってしまうのではなく、学生からも地域社会に積極的に活動を提案し自ら活動をよりよいものにして行くことです。現在も参加メンバーは今後の活動について定期的に集まり話し合っています。

●コーディネーター 基調講演 人と組織と地球のための国際研究所 IHOE 所長 川北秀人

“地域と共に歩むボランティア”と題し、開会したシンポジウムで、パネリストからの報告がどれも素晴らしく感動しました。地域に溶け込み寄り添った活動は、住民からも支えられ関係者の運営に掛ける努力がしっかりと感じられました。学童クラブの運営 いのちのミュージアムの活動 フィランソロピーの活動 東京工科大学の学生ボランティア活動は社会の要請に合ったものでした。報告者の地域をよくしたい、地域に明るい話題を提供して行きたいとの方向が活動の中で感じる事が出来ました。とまとめられてから、基調講演で、これからインフラのメンテにいくら費用が掛かるか判りません。計算すら出来ていません。町内会や自治体で暮らしをどう守るか。我が国は昭和43年GDPが世界第2位になり、中国が今2位になっていますがインフラ整備に掛ける経費は下がっています。地域づくりに総力を挙げ取り組むべきです。と課題を提起された。

●質疑応答

パネリストのレポートについて質問があり、各々パネリストから回答がありました。また自治体の支援が活動を支えていると感想が寄せられました。

■閉会点鐘 多摩南グループガバナー補佐 市川和博

■第4部 懇親会 司会:IM実行副委員長 杉山 勲

水野ガバナーエレクトの挨拶、「乾杯」音頭の唱和して始まった懇親会は。あちらこちらのテーブルでクラブの垣根を超え友情を温め合い意気投合するロータリアンで会場は大変な盛り上がりとなりましたが時間が経つのは早く、惜しまれる中「手に手つないで」を全員で合唱閉会となりました。実行委員会と関係者の皆さんに感謝。

◆IMの詳細についてはいずれガバナー月信等で配信されると思います。

ニコニコBOX	本日10円	累計653,740円
	本年度目標額1,200,000円	達成率54.5%

出席報告	総数	出席	MU前	MU後	欠席	出席率
第1229回	28	28	-	-	-	100%
第1227回	28	17	3	3	5	82.1%

※今週のメイクアップ なし
 ※先々週の後メイクアップ 早川さん 梅田さん 谷さん

◆トピックス 11月22日発生した長野県北部地震では住民同士の助け合いで死者0でした。奇蹟です。

1230回 通常例会	1231回 移動例会	1232回 移動夜間例会	1233回 移動夜間例会	1234回 移動夜間例会
12月2日 12:30	12月9日 19:00	12月16日 18:00	1月6日 18:00	1月13日 16:30
高幡不動尊客殿	京王プラザホテル八王子	浜寿司本店	浜寿司本店	ハイアット・リージェンシー
年次総会	クリスマス家族会	忘年会	新年会	水野功ガバナーエレクト 国際協議会社行会
司会:熊澤会員	司会:親睦委員長	司会:平吹SAA委員長	司会:大塚SAA副委員長	

事務局:東京都日野市神明4-22-13スペースブロンコ1F 〒191-0016 TEL 042-583-6434 FAX 042-583-6435 例会場:高幡不動尊客殿
 会長:渡邊 良勝 幹事:朝倉 邦雄 副会長:小島 明 クラブ広報委員会委員長:河野 和正